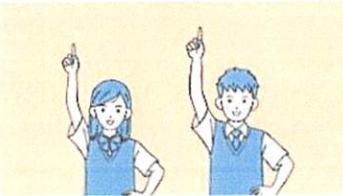




3年生0学期スタート ~進路の主役は2年生へ~

先週末、敬和学園大学で大学入学共通プレテストが実施されました。全国で多くの高校3年生が1月の本番に向けたリハーサルに挑戦したのです。この後、受験生は模試結果から第1志望校合格を目指して正月返上のラストスパートに入ります。

一方、夏休み前から本格的な進路活動を始める芝商3年生は既にほぼ全員が進路を決めています。そんな3年生がいまやるべきは、残りの高校生活を一層充実させることと新生活への準備です。芝商生のセールスポイントは「学習成績の状況(評定平均値)」と「資格・検定」、「総合的な探究の時間」や「部活動」等の頑張りです。1・2年生はそういったセールスポイントを磨くことが大切になってくるのです。



2年生は既に進路活動の主役になっているという自覚を持ちましょう。そして「3年生0学期」の意味を改めて考えてみてください。

過去は変えられません。しかし、これからやることはたくさんあります。皆さんの意志ある一歩が望まれています。併せて1年生も「2年生0学期」の意識をもって今年度の総決算にあたってください。

「面接」を知ろう! ~あなたのセールスポイントは...~

「面接」は進路決定の多くの場面で必ず実施されます。コロナ禍を境に「オンライン面接」も目立つようになりましたが、基本的には「対面型面接」が大半を占めます。

また、近年「面接」と同等の意味を持つ「面談」といわれる試験を入学までに2~3回実施する大学・専門学校が目立ってきました。特に専門学校にこの傾向が強くみられます。生徒からは雑談のように和やかな雰囲気、気楽にやれて良かったと好評です。

しかし、面接官はプロ集団です。自社が求める人材なのか、または自学のAP(アドミッションポリシー)に適った人物なのかといった押さえるべきポイントは確実に見定めていることを忘れてはなりません。

そもそも「面接」の狙いは一体何なのでしょう?

面接官と向き合っていくことから清潔感ややる気を評価されることはもちろんですが、最も問われているのは**「応答力」**だといわれています。

「面接」とは、みなさんの「応答力」が試される場なのです。



★「応答力」を磨くために心掛けたいこと★

①人の話をよく聴く

- ・相手が尋ねていることを正確に聴き取る力を養う。
(どういう順番で、何を質問されたのか)
- ・家族、友人、先生との会話を丁寧に、筋道を立て、適切な言葉選びをする。
(言葉遣い、誠意ある返答、相づちや目線)
(「ビミョーです」は避けたい言葉)

②何事も自分事と捉える習慣

- ・授業中の問答を他人事にしない。(他人の経験から自らの経験値を上げる)
- ・人の振りみて、我が振り直せ (「我以外皆我師」の心構え)

★「受験報告書」からの模擬体験★ 裏面に「受験報告書」例を掲載

<Benesseハイスクールオンライン 受験レポートより>

身近な情報源である先輩たちの受験報告書から「面接」の疑似体験をイメージしてみましょう。本校でよく使われている2パターンを紹介します。

①受験報告書(芝商の先輩) →過去の報告書が進路資料室で常時間閲覧可

- ・面接方法、質問内容と返答例、小論文、その他受験アドバイス多数。

②受験報告書(全国の先輩) →Benesseハイスクールオンラインで公開中

- ・ハイスクールオンラインに個人登録している教員のみが利用可能。



- ・令和6年7月以降、生徒向けの閲覧サービスの開始が予定されている。
(芝商生が受験していない全国の大学・専門学校等の受験報告書がみられる)
(BenesseIDでログイン 詳細は来春の進路便りで連絡)



★予告★ 2/6(火)「3年生の進路体験発表」

卒業式前の3年生が後輩たちのために進路のアドバイスを行う芝商伝統の行事です。体験発表会後、心を揺らした1・2年生が進路資料室に入っていく様子が毎年見受けられます。

1・2年生には刺激ある進路体験発表となるように期待していますし、3年生には伝えることで新生活へのモチベーションを高めることを願っています。

3学期の各種検定試験で成果を上げることは、成績と同様に進路選択の幅を広げることに繋がります!



